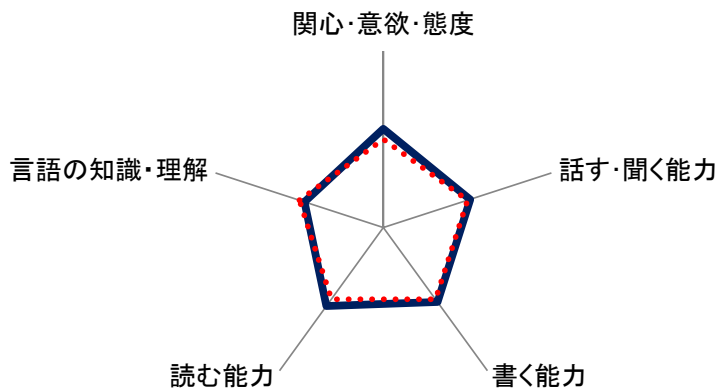


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

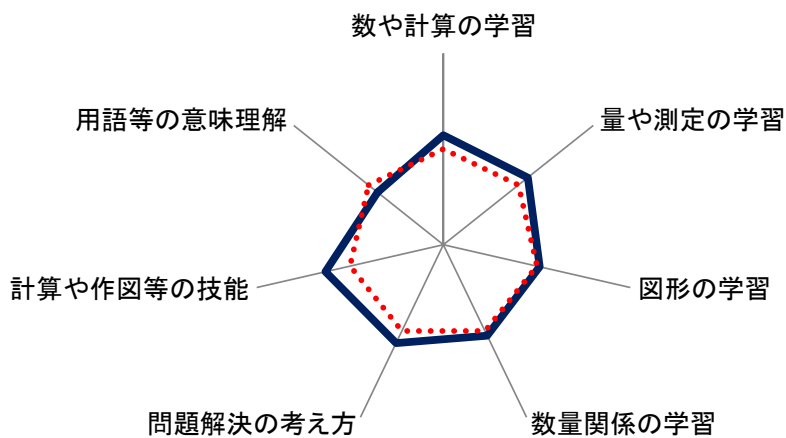
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

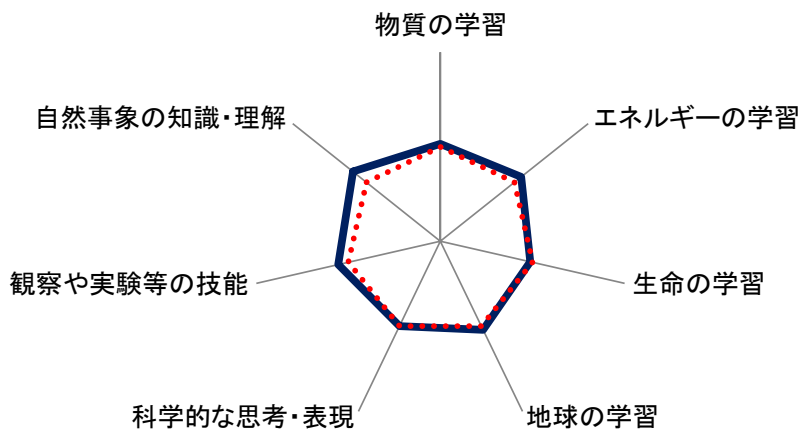
— 市平均
..... 全国平均



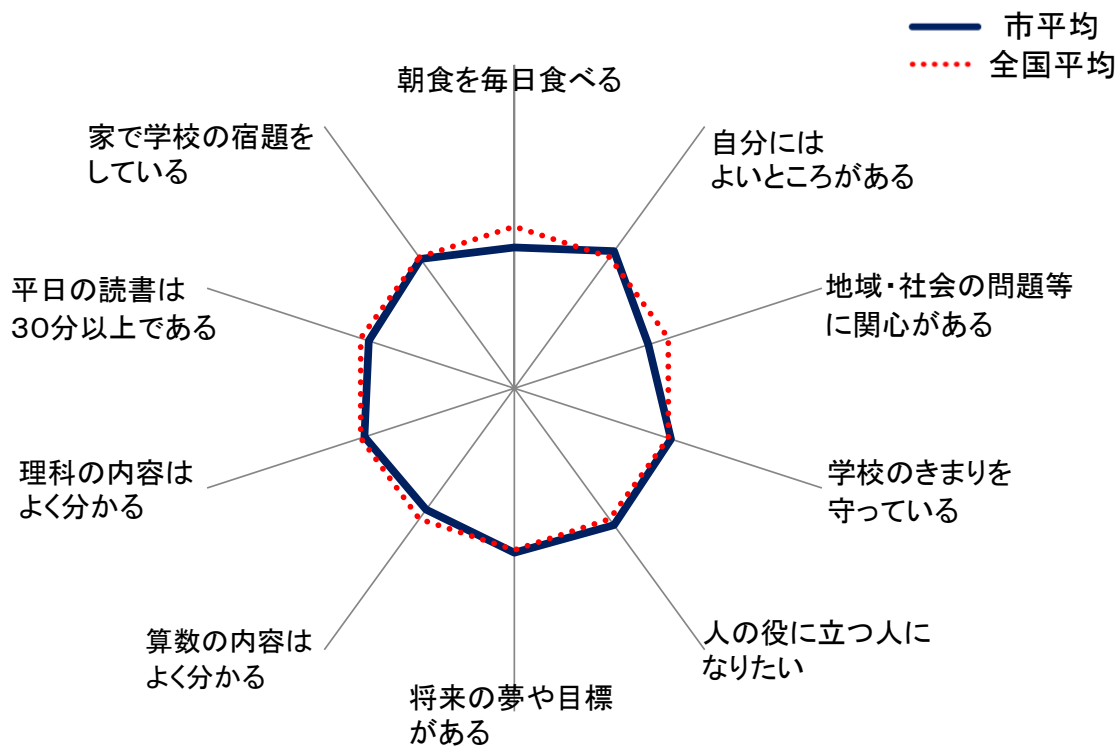
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数、理科の全ての項目で全国平均とほぼ同じであり、結果は良好である。その中で、算数は「計算や作図の技能」が全国平均を上回っているものの、「用語等の意味理解」の項目が下回っている。また、理科は「自然事象の知識・理解」の項目が良好である。今後、更なる学力向上に向けて、児童一人一人に対するきめ細やかな指導を行い、知識と活用のバランスの取れた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査でも、取り上げている多くの項目で、肯定的な回答が全国平均とほぼ同じである。しかし、「朝食を毎日食べる」や「地域・社会の問題等に関心がある」の各項目において、昨年と同様に全国平均を下回っている。中学校に比べ、自己肯定感や基本的な生活習慣に関する意識が低い傾向が見られるため、現在取り組んでいる小中連携教育を充実させるとともに、学校と家庭、地域の連携を密にすることにより、進んで自分の生活をよりよくしていこうとする児童の育成に取り組むことが望まれる。